

北見武道通信

令和6年4月11日 00686号

編集者:佐藤寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【事務局情報】第一回地方審査会が開催！

令和6年度第1回地方審査会（北海道弓道連盟北部地区主管）が4月7日（日）北見市武道館「弓道場」で行われました。前日の6日（土）には「令和6年度北見地区春季弓道講習会」が同会



場で行われ、2日間にわたり約141名が北見市武

道館を利用しました。7日の審査会（四段昇段可）では、北見・網走・紋別・清里・津別・遠軽など各地の高校弓道部員103名が受審しました。また、三段を取得した高校生も現れたとのこと。〈佐藤〉



消防訓練実施

3月19日（火）北見市武道館の今年度2回目となる消防訓練が行われました。訓練では、複合火災受信機の警報装置より火災現場を測定し、迅速に対応、現場での消火活動に加え119番通報。更には避難誘導訓練や消火器を用いた訓練など、消防訓練に真剣に取り組んでいました。〈佐藤〉



連載 中国「老子」の思想 二十八章「体制は割(さ)かず」

「雄」の本質を把握したうえで、「雌」の立場に身を置くならば、万物の源泉となることができよう。

そうなれば、「道」にたがうことなく、無心にしてあらゆるものを受け入れる赤子の状態に戻るのだ。

「白」の本質を把握したうえで「黒」の立場に身を置くならば、万物の規準となることができよう。そうなれば、「道」と一体化になって、限りなく広い原初の状態に戻るのだ。「尊貴」本質を把握したうえで「卑賤」の立場に身を置くならば、万物を包摂することができよう。そうなれば、「道」の全きはたらきを得て、自然そのままの境地に戻るのだ。手の加えない原木は、すべて道具のもとである。「道」を体した聖人は、すべての人を統率する。真によく作るとは、手を加えないことである。

原文:知其雄、守其雌、爲天下谿。爲天下谿、常德不離、復歸於嬰兒。知其白、守其黒、爲天下式。爲天下式、常德不忒、復歸於無極。知其榮、守其辱、爲天下谷。爲天下谷、常德乃足、復歸於樸。樸散則爲器。聖人用之、則爲官長。故大制不割。二十九章に続く